

赤黒の肖像

北海道
コンサドーレ札幌
Midfielder

7

スパチョーク
SUPACHOK

J1へ、 そして世界へ

北海道で5年目のシーズンを迎えたMFスパチョーク。加入当初は「タイから来た選手」だった存在は、いまやチームをけん引する中心選手へと成長した。

J1昇格への強い決意、若手を導く責任、そしてタイ代表としてW杯出場を目指す夢……。クラブへの感謝を胸に、新たな覚悟で挑む28歳が今シーズンの決意を語った。



斉藤宏則 = 文
text by SAITO Hironori

溝口明日花 = 写真
photographs by MIZOGUCHI Asuka

コンサドーレとは

伴走者。良い時も悪い時もそばにいてくれて、勇気だったり喜び楽しみだったり、時には悲しみや絶望感だったりもするけれど、人生に彩りを与えてくれる存在です。[札幌市南区 まこまる]

勝たせるために、 自分がいる。

จากใจพี่ช็อค
自分に勝つ(タイ語)

この1年を、 J2最後の戦いに

——2026・27シーズンがスタートしました。

あらためて言うまでもありませんが、この戦いの中でわれわれはJ1昇格を絶対的な目標として戦っています。今年1月からのキャンプ、そして百年構想リーグの戦いもそうでしたし、その後のオフ期間もこの目標を果たすことだけを考えて、みんなで一生懸命にサッカーに取り組んできました。全員が1日1日を大切にしながら練習や練習試合に挑んできたことを確信していますし、非常にいい雰囲気準備を進めることができたはずですよ。

コンサドーレのメンバーを見渡してみても、J1にいてもおかしくない顔ぶれが揃っ

ており、むしろJ1にいないければならないメンバーだと思っています。ですので、絶対にJ1昇格を達成し、この26・27シーズンをコンサドーレがJ2で戦う最後のシーズンにする。チーム全員が同じ気持ちだと思っています。

——とても頼もしいです。スパチョーク選手個人としては、どういった目標を掲げていますか。

やはり、まずはけがをしないことです。ね。そして、それは願うだけではないので、けがをしない体づくりと、そのコンディションの維持。その点も全力を尽くしていきたいと考えています。百年構想リーグではけがの影響で試合に出場できない時期があったので、今シーズンは同じことが起らないようにします。いいプレーを発揮する

ことはもちろん大事ですが、そのためにはやはり自分自身が万全の状態であればならない。そこにもしっかりとフォーカスしていきます。

——今シーズンは実弟のスパナット選手が大宮に加入しました。兄弟が同じリーグでプレーするシーズンとなりましたね。

本当にうれしいです。僕だけでなく家族全員が喜んでいますが、両親もこのシーズンを楽しみにしていたと思います。兄弟ですが、プロとしてはライバルです。お互いが自分のチームのために全力を尽くし、成長し続けられるよう頑張りたいです。

責任担う覚悟の5年目

——22年の夏にコンサドーレに加入して

4年。ここまでの時間をどのように振り返りますか。

本当にあつという間でした。僕が来る前にはチャナテップ選手(現B.G.バトゥム・タイ)やカウインさん(元G.K.)といったタイの大先輩が在籍していたこともあって、コンサドーレにはタイ人選手を受け入れる環境が整っていたように感じます。実際に僕もすぐスムーズになじむことができました。もしもこのチームや街の環境に戸惑っていたらば、この4年はとても長く感じていたはずですよ。ですから、僕がスムーズになじめるように気にかけてくださったすべての方々にお礼を言わなければいけない。そのように振り返っています。

一方で、僕自身のプレーについては決して満足していません。先ほどお話ししたことと少し重なりますが、けがもあって自分の

